

報恩講と大根汁

飛騨御坊高山別院 報恩講勤修 11月1日(金)~3日(日)

■高山2組による報恩講奉仕―「大根汁」接待

高山別院の報恩講といえば「大根汁」、と言われるように名物となっています。

高山2組門徒会では、11月1日から3日の高山別院報恩講の期間中、この「大根汁」の接待を行っています。2組は現在17カ寺で、1カ寺から3名ずつ出役し奉仕を行っています。

別院報恩講の大根汁接待は、2000年(平成12年)の報恩講から始められました。伝え聞くところでは、当時、高山1組の御門徒さん方が別院報恩講の準備や懇志の受付など手伝っておられ頑張っておられました。それで、2組でも「報恩講を盛り上げるために何かできないか」という話になり、「報恩講なら大根汁やぞ!」という声が出て始められたのだということです。

大根汁接待で使用される大根は、組内の農家の御門徒から寄附して頂いていたようですが、年によっては大根が不作なこともあり、あちらこちらにお願いして少しずつ分けていただくという、大変な年もあったとのこと。近年使用されている大根は、江名子・山口の御門徒の農家で作られたものをご寄附いただいています。

大根を育てるといことはなかなか大変です。お盆の頃、一番暑さが厳しい時期に種まきをします。水の管理も大変で病気になりやすい頃なので、大変苦勞をしていただいています。昨年も不作ということで、市場に行けば大根はありますが、できるだけ地元で育てられた大根を使うよう心がけています。

報恩講の前日、大根を洗い約1センチ角に切ります。大鍋を2つ使い、毎日、味がしみ込むよう前日からしっかり煮込んで、報恩講の3日間、参拝者に振舞われます。この間シフトを組んで、2組門徒会員全員で大根汁接待を行います。

■味は変わっても願いは一味

大根汁を作るのは大変なことです。最初は、大根の量やどの味噌をどれくらい使うのか、手探りでいろいろと苦勞をされたようです。毎年、要領や味付けの手法を記録はしていますが、役員の任期が3年ということもあり、結局、試行錯誤の繰り返しになってしまうのが今日の有り様です。

そんなことから、味についてはどうしても一定ではないのかもしれませんが、歴代の門徒会から門徒会へと、大根汁接待を大事にしていくことの

願いは伝えられ受け継がれており、その受け継がれるものは間違いなく一味であります。ですから、別院報恩講での大切な行事であるとともに、高山2組としても伝えていきたい報恩講行事です。大根汁接待は、2組の中心行事だと言っても過言ではないと思います。この大根汁の食文化を守り伝えることが、私たちのつとめだと思っています。

昨年は、大根汁のユニフォームとして、2組門徒会のエプロンを作りました。

■各寺院報恩講での大根汁

さて、各寺院において大根汁の作り方は様々でしょうが、私のお手継の寺である速入寺の場合を紹介いたします。

毎年報恩講の日には、15名の各班長さん自宅で調理がされます。その各家庭で調理された大根汁をバケツに入れてお寺に持ち寄り、大鍋で再度加熱します。(左写真参照)このように、各家庭の味が混ざることによって、うまく調整されて程よい味となります。

長老によると、「この味を楽しみに報恩講にお参りするんやさ」という声をお聞きすることは、いかにも「大根汁」ならではの。



■今年も別院報恩講で一味の大根汁を

高山別院報恩講では、今年も大根300本、味噌15キロ、約1500杯分の大根汁を準備いたします。お参りをいただくとともに、高山2組お手製の「一味」の大根汁を味わっていただきたいと思っています。

「南無阿弥陀仏」とお念仏を称えた後の食は、お参りいただいたお一人お一人に得難いものとなるでしょう。

高山2組門徒会長
速入寺門徒 赤岩 優



★センター・別院からのお知らせ★

高山別院報恩講 1日:音楽法要 2日:同朋唱和 3日:帰敬式 期間中:大根汁接待

2024年度 11月1日(金)、2日(土)、3日(日)

月/日	時	会座
11/1	7時	初速夜 音楽法要
	10時	第43回別院 真宗公開講座
11/2	朝7時	日中 大速夜
	夜6時半	御伝鈔の夕べ
11/3	朝7時	帰敬式
	10時	満早

主催会場/真宗大谷派 高山別院 お問い合わせ 0577-32-0688

御坊茶会11月1日 11時~15時

御坊大根汁提供 各種バザー

子ども作品展 10月10日~11月3日 表彰式 11月4日(明) 祝日 11時

鍵役信僧院殿御参修 ひだご坊 報恩講

今年も高山別院 飛騨御坊報恩講が11月1日から3日に勤修されます。皆さま、お誘いあわせてご参拝ください。

筑前琵琶の演奏 2日午後2時 結願速夜後 御伝鈔の夕べ-feat. 曾爾テラワキ氏・列座 2日(土) 午後6時半 今年上巻を拝読



第43回 真宗公開講座

第43回 ひだ御坊 真宗公開講座

会場 高山別院 聴講料 各回 500円

- 10/4(金) 14:00~ 報恩講のご和讃を学ぶ ―信心に開く世界― 四衛 亮氏(不渡中住持) 三島大進氏(真道中住持) 主催/真宗別院会
- 11/1(金) 14:00~ 念仏の道場 佐賀枝立氏(高山別院寺住持) 主催/真宗別院会
- 12/18(水) 14:00~ 「聞(もん)・問(もん)・開(かい)」という歩み 乾文雄氏(大谷中学・高等学校校長) 主催/真宗別院会
- 1/16(木) 14:00~ 妙好人の宿 ―詰所と高堂再建の歴史― 太田浩史氏(高山別院大塚中住持) 主催/真宗別院会
- 2/4(火) 14:00~ 「道を求めて止まず」―私にとつてのハンセン病問題― 酒井義一氏(東京報法寺住持) 主催/真宗別院会
- 3/6(木) 14:00~ 三帰依の願い 安藤 弥氏(明徳大学教授) 主催/真宗別院会
- 4/7(月) 14:00~ 能登の真宗 ―「御崇敬」の歴史を通して― 大町慶華氏(信濃地区専修寺住持 元高山別院住持) 主催/高山1組真宗別院会

企画会議懇談会 各組まとめ② 益田組・荘白川組

益田組 実施日：2024年5月27日（月）午後2時～

会場：益田組 永養寺

- ◆組会は、基本月1回開催。急ぎの案件が無ければ2カ月に1回。
- ◆10カ寺あるが、全力寺すべてで協力して活動することに困難を感じる。
- ◆益田組には**教化委員会**がある。各寺2名以上選出。門徒会や教化委員にも、組会と一緒に教化をしていっていただきたいという願いがある。
- ◆**真宗公開講座**を40年以上開催。その主体となっていたのが教化委員。
- ◆**真宗公開講座**は、**親鸞教室**を終えた人が高山まで行けないので、益田でやろうということから始まった。
- ◆**親鸞教室**と**真宗講座**が連動していたという意味合いは良かったと思う。
- ◆**親鸞教室**の現状を見ると、動員できるお寺と難しいお寺がある。組単位での実施は大きく、ブロック単位での実施もあり得るのでは。親鸞教室、真宗公開講座、別院報恩講など参加者の**距離**の問題もあると思う。
- ◆**親鸞教室**は一生懸命やっていた。もう一度、親鸞教室という名目で、今度は若い人に入ってもらうことの方が教化に繋がっていくのではないかな。今後は、若坊守や息子たちにも繋いでいけたらと思う。
- ◆**住職**は声を掛け**門徒さん**はそれに従う。門徒さんは声をかければ、応答して行事や会議に出ていただける方は多い。しかし、住職はそこには関わらないという無責任なことになっている場合がある。
- ◆（門徒）教化活動や三本柱について意見を求められてもよく分からない。
- ◆葬儀屋さんに任せすぎていると考えている。これでいいのかと考えるべきではない。
- ◆行事に出席されたご門徒さんが何の集まりか分からず、組長が改めて説明することがある。**住職から門徒への伝達**がうまくできていないことが多い。
- ◆同朋会の人元気なうちはある程度行事への参加が見込めたが、今は同朋会の人年を取った。そして、同朋会に入る方もみえない。年齢的なことあると思う。
- ◆自分の所のお寺に関してはすごく一生懸命やってもらっている。それが組になると**距離感**が出る。その上に高山別院となると**実際の距離**の問題もあり、お願いするが積極的にというのは難しい。センターからおりてきたことを全てやるということは難しい。
- ◆門徒さん、坊守さんたちの意見も聞かなければいけないということで、**組同朋総会の充実**ということを考えている。今後のお寺の在り方、各寺の悩み相談という事で、一度懇談会ができたと思う。
- ◆同朋会運動の反省として、門徒さんを組や教区に押し出していくことに一生懸命になり、**1ヶ寺1ヶ寺の教化力が衰退**してきたのでは。新しい取り組みはしなくて良いと思う。大事だから繋げてくださった事があるので、形を変えながらも原点は忘れずに続けていけたらと思う。
- ◆コロナ前は、ご門徒さんに**報恩講でお齋**を作っていた。昔は同居が多かったの、「行けなくなったら、次はお嫁さんに頼む」という申し伝えがあったが、今は核家族化や仕事もあり声も掛けにくい。
- ◆「終活」の問題をもっと真剣に取り上げてほしい。「老病死」の部分は僧侶が担い、終活の一部分を支えるべき。

荘白川組 実施日：2024年5月19日（日）午後1時半～

会場：荘白川組 平瀬文化会館

- ◆荘川地区の人口は1000人を切った。白川地区も1500人を切った。
- ◆荘川地区のお寺は全て真宗。白川地区はお西が1ヶ寺。ほぼ**真宗門徒**。
- ◆親密感はあるが**交通の便が大変**。北から南で58キロくらい。
- ◆組で会合をするときは平日の方が多。組のど真ん中の平瀬公民館か黒谷公民館で行う事が多い。
- ◆何回か**親鸞教室**を受けているので、またかという気持ちになる。
- ◆施設訪問は毎月行っている。負担となっていないか？→負担ではない。
- ◆**帰敬式法座**により**親鸞教室**での**上山が疎かになる**という感覚は？
→（荘川）親鸞教室＝上山というイメージがあったが、どうしても行かなくても良いということになってきた。親鸞教室自体なかなか開催できない。今年度は参加者がいなくて、前期教習の途中で終了となった。
→（白川）間をあけてそろそろという感じで実施。上山時の帰敬式は、特段目的ではなかったが、帰敬式は本山で受けるということが浸透している。
→「お剃刀とは何か」「法名って何か」が理解できていない御門徒もいる。亡くなった時に棺前でお剃刀をすればよいのではという方もいる。
→亡くなった時のために法名が大切だとか、生きている間に自分に合った法名を決めてもらいたいということ聞いた。
- ◆**お剃刀を受けてください**とはいにくいかな？
→「まだそんな年ではない」と言われることが多いが、年配の方はだいたい受けている。
→別院でお剃刀を受けた方に法座を促すと抵抗感がある。鬱陶しいというような感覚だと思う。
- ◆**夏のお勤めの会**について（7カ寺ほどが実施又は実施していた）。
→コロナ以降休止。お盆の10日間くらい毎朝ラジオ体操後。今年から復活させたい。報恩講中の夜に家族報恩講という感じで、子どもたちが披露する場を設けている。コロナ前は15人くらい来ていた。
→夏休みは、前住職の時代からラジオ体操後のお勤め練習をしている。報恩講の御満座の前に同朋奉讃で子どもがお勤めをする。
→夏休みお勤め会をやっていたが、運動会の民謡をラジオ体操の後に練習するようになり、子どもがそちらへ行ってしまう来なくなった。
→夏休みの7月の1週間だけ、お勤め会をしている。その後、簡単なお話をする。お釈迦様や仏教のことを知らない子どもが多い。
- ◆**未婚者が増え、少子化が進む**。そして人口が減る。今、子どもが小中で50人程しかいない。
- ◆**報恩講のお齋**など、お手伝いできる人が減少。2日間あったお齋を今年から1日にした。若い人、後継者がだんだんいなくなっていることを実感する。高齢の方に手伝わってもらっているのが現状。
- ◆皆さん年を取られて**交通手段**が一番の問題だと思う。本当はお参りしたいという方に対しどうしていったらいいのかな。
- ◆行事や講義を**ZOOM**や**YOUTUBE**での**配信**をテスト的にやってみては。→やってみる価値はある。「やらなければいけない！」と刺激になる。

飛騨御坊真宗教化センター・高山別院 2024年10月行事予定

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区・組	会場
1	火			
2	水	14:00 19:00	教 解放推進協議会輪読会「映画自主上映会」	研修室
3	木	13:00 19:00	別 三日の御坊 法話：上清水信男氏（西蓮寺衆徒） セ 帰敬式推進室 第1回実行委員会	本堂 研修室
4	金		セ 真宗公開講座①（講師：四衢 亮氏）	御坊会館
5	土	7:00	別 半日華	
6	日			
7	月	13:30 15:00	教 坊守会研修会 教 益田組所長巡回	研修室
8	火	14:00	教 寺院活性化支援室会議	岐阜高山教務所
9	水			
10	木			
11	金	13:00 14:30 18:00	別 大谷婦人会定例 法話：三島 多聞氏（輪番） セ 正副座長会 組 高山2組組会	御坊会館 研修室
12	土	17:00	教 荘白川組所長巡回	平瀬文化会館
13	日	7:00 13:30	別 前住上人ご命日 セ 帰敬式事前研修会①	本堂 本堂
14	月			
15	火	7:00 13:30	別 半日華 教 真宗同朋会会議	研修室
16	水	13:30	教 教区坊守会研修会	照明寺

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区・組	会場
17	木		教 東海連区野球大会	
18	金	14:00	教 慶讃広報部会	岐阜高山教務所
19	土			
20	日			
21	月	13:30	セ 帰敬式事前研修会②	本堂
22	火			
23	水	14:00	組 全飛組門徒会研修	本堂他
24	木			
25	金	13:30 19:00	組 高山2組坊守会 教 教化研究所	研修室 研修室
26	土			
27	日	9:00 13:00	別 吉城組・婦人会 清掃作業 別 御逮夜	本堂
28	月	13:00	別 親鸞聖人御命日 法話：春國 文春氏（玄興寺住職）	本堂
29	火		セ ハンセン病療養所交流研修会（～30日）	長島愛生園
30	水	7:00 15:15	別 一日華・華束盛 組 高山1組末日会	研修室
31	木	13:00	別 報恩講準備	

2024年11月 ※中旬までの掲載とし、定例行事は省きます。

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院	日	曜	時間	ご坊センター・高山別院
1～3			別 高山別院報恩講	4	月	11:00	セ 子ども報恩講
1	金	14:00	セ 真宗公開講座②	7	木	13:30	教 両地区同推協会議

飛騨御坊 HP『ひだご坊一口法話』10月

竹田 雅文氏（高山2組東等寺住職）・澤邊 恵秀氏（高山2組誓願寺前住職）